

中国市場における黒鉛電極動向

(2020年9月)

9月、中国市場の黒鉛電極価格は引き続き上昇している。

規格 600mmUHP 以下のものは供給不足のため、価格が値上がり傾向となった。

規格 600mmUHP 以上のものは在庫に余裕があるため価格の上昇傾向があるものの緩やかである。

主要な原料市場について

ICC の統計によると、1月から8月までの中国ニードルコークス（以下、「NC」という）は生産量が約 29 万トン、設備利用率が 43%であった。

8月末までに、NC の在庫はほぼ消えた。9月に価格下落が止まり、値上傾向がでてきた。

9月12日、山東益大新材料股份有限公司の NC 希望価格は 500 元/トンに値上した。

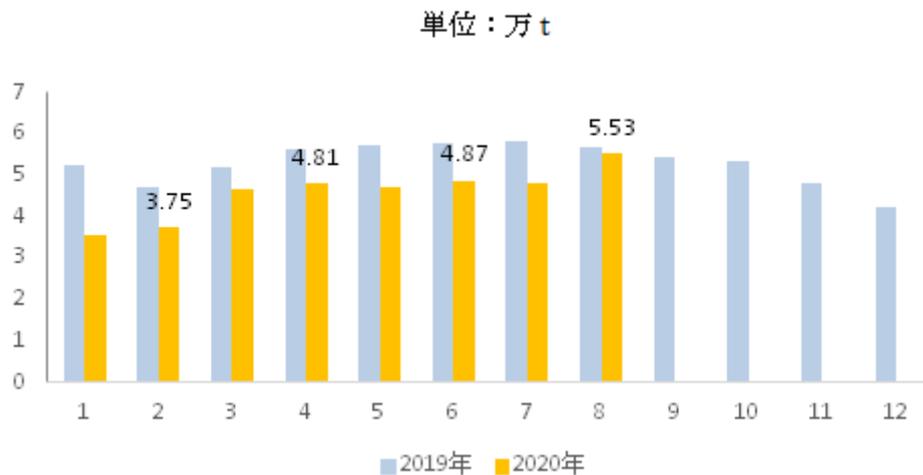
9月23日、中国旭陽集团有限公司傘下の NC 価格は 500~1,000 元/トンに値上した。生産工場は河南省平頂山市と山西省呂梁市にある。

低硫黄コークス市場では、8月下旬から値上がりし9月末までに上昇幅が 44%に達した。

黒鉛電極の生産について

図1に示したのは中国黒鉛電極重点企業（18社）の黒鉛電極生産量である。

1月から8月まで重点企業 18 社の生産実績は約 37 万トンで、前年同期より 16.2%減となった。



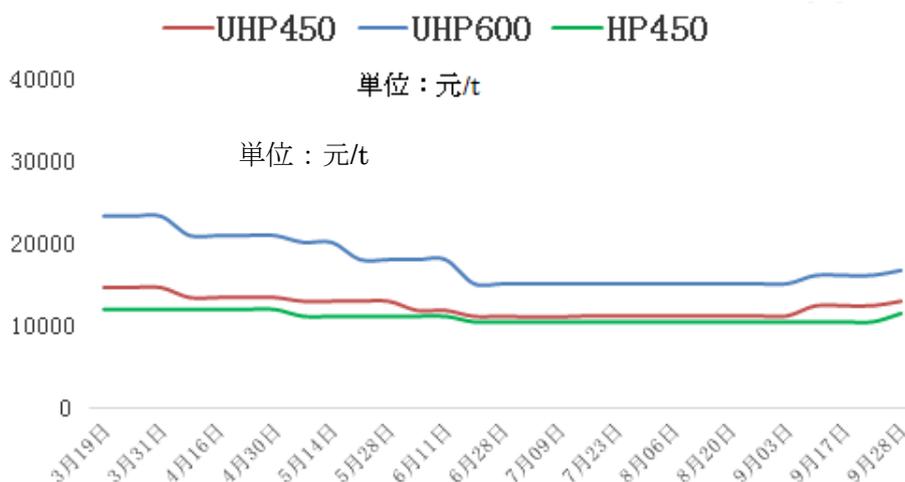
出典：ICC

図1 2019年1月～2020年8月黒鉛電極重点企業18社の生産量推移

図 2 に示した通りに、今年は黒鉛電極の価格が低目で推移している。とくに第 1 四半期に新型コロナウイルスの影響を受けて中国黒鉛電極工場の設備利用率は平均で約 60%であった。

小型黒鉛電極は一時的に市場価格が低くなりすぎたため 1 トンあたり 3,000 元の赤字補填しなければならなくなり、とりあえず生産を停止する工場が多くあった。

しかし、7 月以降は市場が全体的に供給不足気味となった。



出典：ICC

図 2 国内黒鉛電極価格の推移

製鋼業界と輸出需要について

9 月 30 日現在、中国では 71 社の電炉稼働率は平均で約 70%である。

中東、ロシア、韓国など海外からの黒鉛電極注文が明らかに増加している。そのため、国内の大型黒鉛電極の在庫問題の解決に役立っていると言える。

情報源：ICC の情報を整理し作成